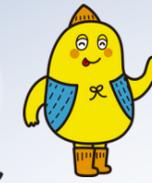


南会津★  
プライド  
PRIDE



シリーズ31

株式会社アラカイ



～町のがんばる企業紹介～

●私たちの会社は、こんな仕事をしています

私たちの会社は、南会津町で唯一のチップ工場です。南会津町の広大な森林資源を有効活用し、地産地消を目指しています。事業内容は、製紙用チップ・オガ粉・パーク堆肥・高機能炭・燃料チップなどの製造に加え、冬季暖房用の薪を販売しています。これらの製品は、木や樹皮などの貴重な資源を100%余すことなく使用しています。また、自社の大型トラックを6台保有し、貨物運送業も営んでおり、自社製品や他社の木材製品などの運送も担っています。

●私たちの製造したものは、こんなところで使われています

道の駅きらら289大浴場の温度管理と、(株)グリーン発電(河東町)のバイオマス発電に、それぞれ「燃料チップ」が使用されています。日本製紙(株)岩沼工場(宮城県岩沼市)には、新聞用紙・中下級紙の材料として「製紙用チップ」を出荷しています。(有)尾瀬きのご園や雪国まいたけバイオマスセンター(新潟県五泉市)では、きのこ栽培に「オガ粉」が使用されています。また、弊社「高機能炭」をイチゴ栽培などに使用した結果、増産につながったとの評価を農家の方からいただきました。



木材置き場



パーク堆肥



オガ粉



木材チップ



QRコード  
(株式会社アラカイ)

●会社のPRIDE(誇り)は!

私たちは、木材を扱う会社として、地域になくてはならない存在を目指しており、「地域と共存」を社訓に、日々仕事に取り組んでいます。「日本パーク堆肥協会」の会員として、品質基準認定試験を受験し、毎年品質認定を受けています。微生物に対する安定性が高い「パーク堆肥」は、安心して利用でき、安定的な販売数量を確保しています。

【会社概要】 ◆代表取締役：湯田 幸彦 ◆本社：南会津町川島字土橋1205 ◆設立：1962年(昭和37年)6月22日  
◆従業員数：15人(男性14人、女性1人) ◆TEL：0241-62-1052 ◆FAX：0241-62-1053

ふるさと納税(応援寄附金)ありがとうございます

令和2年8月1日から8月31日までの間に、納税(応援寄附金)いただいた方々をご紹介します。(計80件)

住所	氏名	住所	氏名	住所	氏名
秋田県湯沢市	沓澤 育子 様	神奈川県大磯町	高田 秀 様	埼玉県さいたま市	村田 憲司 様
東京都港区	篠原 泰 様	千葉県千葉市	金子 淳 様	埼玉県春日部市	戸田 浩美 様
東京都墨田区	菅野 和紀 様	千葉県千葉市	室井 俊之 様	埼玉県川越市	川島 亮 様
東京都豊島区	室井 康宏 様	千葉県流山市	松尾 周也 様	埼玉県富士見市	君島 宏明 様
東京都日野市	中嶋 孝治 様	千葉県白井市	金田 直樹 様	大阪府和泉市	守山 忠志 様
神奈川県川崎市	塩野 高峰 様	千葉県船橋市	室井 満夫 様	福島県郡山市	黄 英雄 様
神奈川県横浜市	阿部 弘蔵 様	千葉県八街市	上柳 悟 様	福島県いわき市	喜多見晃子 様
				匿名希望	59件

【いただいたメッセージ】

※紙面の都合上、一部省略して掲載しています。ご了承ください。

- ▼これからも、ふるさと納税で、ささやかながら、応援いたします。
- ▼がんばれ、ふるさと。 ▼地域の活性化を応援しています。
- ▼やまさんのお父さんとお母さんいつもありがとう。
- ▼震災後に仕事で福島県内の各地に伺いました。これからも支援します。
- ▼山岳救助隊の方々に感謝申し上げます。

ふるさと納税は、パソコンやスマートフォンからお申し込みができるほか、**クレジット決済**もできます。詳しくは、町ホームページをご覧ください。

南会津町ふるさと納税 検索 総合政策課 企画政策係 電話 0241-62-6210



すまいるだより  
「いつだって今が大事」  
vol 30

vol 30

【子育ての相談】  
子育て世代包括支援センター「えがお」(健康福祉課内)  
電話 0241-62-6170  
メール egao@nanaizawa.or.jp

【おすすめ図書】  
この子は、この子のままでいい本  
佐々木正美 著  
「この子は、この子のままでいい本」と思える本」

**う** まくいかなことが続いたときに「あのときあ

**子** 育てに悩むお母さんや

が強くみられるように思いま

ないことの連続です。お子さ

が保育所や学校に行きたが

らないとき、悪いことをして

も素直に謝ってくれないとき

など、うまくいかないことに

直面すると「自分たちの育て

思っ、自信たつぷりに育つ

ていく。」と、述べています。

子育てに煮詰まりそうなき

は、佐々木氏の言葉にあるよ

うに、基本の考えに立ち返る

ことが大切です。

**例** えば、人は強いストレス

に陥ることがあります。苦痛

や不安、恐れなど、自分で対

のだろうか」と、不安を覚え

るかもしれません。

「仕事の忙しさにかまけてい

たから」「下の子ばかりに手

をかけていたから」「一人に

させてしまったから」など、

両親である自分たちに原因が

あるかのように受け止めてし

まうのです。

愛情をお子さんに感じて

もらうために、効果的

な行動は「お子さんの話を聴

く」こと。長時間でなくても、

作業中でもいい。決してイラ

イラせず、穏やかに、うなず

きながら話を聴く。それだけ

で愛情は伝わるとされます。

**愛** 情をお子さんに感じて

子どもは、いつだって「今」

が大事。子育てで失敗

した過去を振り返るのではな

く、今の関わり方に目を向ける。

このコラムを読んでいただ

いている皆さんの中に、今夜

にでもお子さんの話を聴いて

くれる方がいますように。

**そ** 誰かに話を聴いてもら

「この子は、この子のままでいい本」

「この子は、この子のままでいい本」

「この子は、この子のままでいい本」

「この子は、この子のままでいい本」

「この子は、この子のままでいい本」

「この子は、この子のままでいい本」